

### 宇都宮中核市サミット



会派メンバーと宇都宮市で開催された中核市サミットに参加しました。令和6年度は秋田市での開催予定です。

### スタジアム視察



宇都宮では陸上競技場内に作られたスタジアムとサッカー専用スタジアムの2つを視察してきました。LRT(次世代型路面電車システム)も併せて見学してきました。

### 先進的な工場や公共施設の視察



温室効果ガスを通常の処理工程より63%も削減できるペットボトルの水平リサイクル工場や子どもの創造性や好奇心を育む目的で作られた文化施設や公共施設など、他都市の先進的な施設や行政を視察して先進事例を研究してきました。

### 委員会視察



所属している厚生委員会と議会運営委員会、県外視察を行いました。兵庫県相生市、岡山県岡山市と神奈川県茅ヶ崎市でそれぞれ「子育て応援施策」、「在宅介護総合特区」、「ちがさき障がい者支援アプリ」について、埼玉県草加市と茨城県つくば市では「議会改革の取組」、「議会BCPとオンラインによる一般質問の実施」について先進的な取組や施策の事例を研究してきました。

### 豪雨災害の現場視察と要望の聞き取り



雄和地区・河辺地区へは自民党会派と合同視察を行い現場の状況確認と情報共有を行いました。また、中心市街地には災害ボランティア協力員とともに現地へ入り、状況の把握と調査確認や要望の聞き取りを行なっています。

### 市民や市民団体等との意見交換や聞き取り



秋田市の課題や秋田市を元気にする活動を市民と一緒に考えたり市民団体等と意見交換や聞き取りを行なったりなど、市民の声を拾い様々なアイデアを生み出す機会を積極的に作っています。

### 秋田市の各種公式イベント等へ出席



二十歳(はたち)のつどいや秋田市の卸売市場での新年の初競り、秋田市消防本部出初式、市立高校や公立大学等の卒業式などに来賓として出席しました。伝統行事や祝賀行事に参加することで、地域の歴史や価値観・人々の結びつき、地域の産業や商業活動の重要性や特徴を知り、市の施策に生かしていきます。

## お困りごと

## 秋田市へのご提案

## お聞かせください。



写真左から、藤井翼議員、小松健議員、若松尚利議員、菊地格夫議員

### おひとりでも構いません。お呼びください。

ご近所やサークルの集まり、ランチミーティングなど、ちょっと話を聞いてみたい、あるいは市に相談したい、意見を言いたいみたいなのがありましたらお気軽にご連絡ください。

### 議会見学に来ませんか？

本会議や委員会はどなたでも傍聴できます。事前申し込みは不要ですが、もし不安であればお気軽にご連絡ください、ご案内いたします。また、閉会中も議場や会派控室、議会図書館などご覧いただけます。ぜひ気軽にお声がけください。

### なんでもお気軽にご相談ください。

市政のことはもちろん、これは市の管轄かな？と悩むものも、お気軽にご相談ください。EメールやSNSのDMでもどうぞ。

## 秋田市議会会派

市政に新しい息吹を。多くの声を地域のカタチに創り上げていく。



みなさんの声を聞かせてください。

[HP] <https://sowsay.jp/>

(菊地会長)070-2650-3943 E-mail [info@kikuchi-tadao.com](mailto:info@kikuchi-tadao.com)



市政に新しい息吹を。多くの声を地域のカタチに創り上げていく。

# そうせいと維新

秋田市議会会派 会報

## 2024年春号

〒010-1618 秋田市山王一丁目1番1号  
TEL:018-888-5408

### 会派初の 代表質問 特集号

詳細は中面へ▶

SNSで情報発信中!



編集長/会派 そうせいと維新

## キクチタダオ 菊地 格夫

## 2月議会トピック

### 1 代表質問を行いました

里親制度や生物多様に配慮した魅力あるまちづくりなど様々な質問をしました。代表質問は、一般質問と違い市政全般に対して俯瞰的な視点での質問が中心のため、地元の課題には敢えて触れていません。この質問を作るまでに、秋田市民である友人たちと共に、国際協力の現場で課題解決に使われるPCM (Project Cycle Management) という手法を使い、まず秋田市の現状の問題を整理しました。秋田市の様々な課題を抽出して、原因と結果で分析して整理して、その中から一番大きな課題(中心問題)とその対策となりうるアプローチや事業を抽出して組み立てをしています。

### 2 会派そうせいと維新から予算修正案を出しましたが反対多数で否決されました

外旭川まちづくり関連経費削除の予算修正案を会派そうせいと維新の若松議員が作成して提出しました。地域未来投資促進法に基づく基本計画について国からの同意を得たのちに、まちづくりに地域の声や各分野に精通した方々の意見を取り入れ、さらなる発展と地域全体への波及効果を生み出すことを目的とした連携協力団体として、(仮称)外旭川地区まちづくり協議会を設立する部分とそれに関連する経費計62.9万円を削除した修正案でした。

賛成したのは、修正案を作成した若松議員、会派フロンティアの藤枝議員と私の3人だけでした。

#### <前提条件として>

・外旭川地区まちづくり事業推進経費を含む当初予算全体に反対ではない

・外旭川地区まちづくり事業推進経費全体に反対ではない(アドバイザリー業務委託費は削除すべきではないと考えている)

#### <自分の考え>

・地域未来投資促進法に基づく基本計画について、国からの同意を得たのちに行う経費については「計上すべきではない」と感じています。不確定要素が多い不透明な予算を立てる、こういった議会軽視とも取れてしまう行政手続きは良くないと思っていて、しっかりしてほしい、釘を刺す、という意味を含めた修正案でした。議案に対して議論をすべきところがある時は、きちんと糾すべきと考えます。地域未来投資促進法を活用することについて、個人としては県の考え方と同じで法の立法趣旨と合わないため、この法律を使った申請には無理があると考えています。

### 3 私が会派を代表して予算案に賛成の立場から賛成討論を行いました

賛成討論を行ったのは、令和6年度当初予算案全体には賛成であり、各論においては、外旭川地区まちづくり事業推進経費の手続きの一部に疑問があったため糾した修正案に賛成しましたが、外旭川の事業や予算全体を否定するものではない、という会派の気持ちを理解してもらいたかったためです。



代表質問全文はこちら



賛成討論全文はこちら

# 令和6年2月議会 代表質問

2024年(令和6年)2月27日(火)に代表質問を行いました。主な内容は、以下のとおりです。

## 令和6年度当初予算案及び財政運営について



昨年策定した秋田市中・長期財政見通しにおいては、今後、主要2基金の残高が大幅に減少する見込みとしているが、歳入・歳出の構造改革を含め、どのように財政運営を行っていくのか



本市の最重要課題である人口減少対策や産業振興等に予算を重点配分し、税収増につなげるとともに、新規財源の確保等を図るほか、市民サービスの水準を維持しつつ、事業の優先順位や効果の十分な検証のもと、スクラップ・アンド・ビルドをこれまで以上に徹底し、財源捻出と歳出抑制を図る必要があると考えております。これらの取組により、基金の取崩しに過度に依存しない財政構造を維持するとともに、社会情勢の変化や各種災害などに備え、主要2基金残高の復元を図り、持続可能な財政運営に努めてまいります。



新規財源の確保に向けて、宿泊税を導入する考えはないか



現在、先進自治体から、導入目的や作業工程などの情報収集を行っているところであります。令和6年度においては、有識者や宿泊事業者等による協議を行うなど、引き続き、導入に向けた検討を進めてまいります。

## 災害対応について



昨年の豪雨災害における被災者の生活再建は、どの程度進んでいると認識しているのか、また、このたびの災害対応の経験から見えてきた課題は何か



被災者の生活再建については、各種支援制度を利用し生活再建の目的が立った被災者はいるものの、未だ目的が立っていない被災者も一定数いるものと認識しており、今後も継続的に支援していく必要があると考えております。また、このたびの災害対応の経験により、初動から被災者支援に至るまで、避難情報等の発令、避難所の開設・運営、被害調査や相談窓口の体制、災害ケースマネジメント等が課題と認識しており、これらを検証して今後の災害対応に活かしてまいります。

## 人口減少対策について



若者や女性に選ばれる秋田市を目指し、今後、どのような施策に重点を置いて取り組んでいくのか



若者や女性に選ばれるまちであるためには、安定した経済基盤を前提とした将来の見通しを持つことができ、夢や希望を叶えられる環境が整っていることが重要ととらえ、学びや就職・結婚・出産・子育てなど各ライフステージに合わせた切れ目のない施策展開に努めてきたところです。今後は、若い世代、とりわけ女性がやりがいを持ち、キャリアを生かせる雇用の場やビジネスチャンスを得られ起業できる環境の創出を図り、チャレンジできる環境を充実させていきたいと考えております。加えて、中心市街地のにぎわい創出や持続可能な公共交通の実現など、まちの活力や魅力向上につながる施策も展開し、住み続けたいと思えるような、若者にとって魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。



転入者に対するアンケートを実施することにより、本市の魅力や課題を調査し、施策に反映させるべきと考えるがどうか



本市を転出する方の転出理由や本市での暮らしで感じた課題を把握することは、新たな移住・定住の施策を考える上で参考になると捉えており、今後、転出者に対するアンケートの実施について検討してまいります。

## 市民の主体的な活動の推進について



「地域づくり組織」、「地区づくり組織」及び「町内会等」の三層構造を生かした住民自治活動の強化を図るため、市として何らかの支援を行うべきではないか



今後も、個性ある地域づくりや地域の課題解決に向けた取組を支援することで、市民協働・都市内地域分権を推進してまいります。

## 福祉行政について



社会保障給付の適正化・効率化のため、データ検証を行う団体と包括連携協定を締結し、予防医学分野におけるデータ検証を行ってはどうか



先進事例について情報収集し、データ検証の手法について調査研究してまいります。

## こどもまんなか社会の実現について



社会全体で子どもや子育て世代を応援する市民意識の醸成に向け、どのように取り組んでいくのか



今後も、地域社会と連携してこども若者施策に取り組むとともに、広く情報発信を行うなど、こどもまんなか社会の実現のための施策が身近なものに感じられるよう、市民意識の醸成に取り組んでまいります。



市職員が、週末里親や養育里親となるための里親研修に参加できるよう、年3日まで有給休暇を取得できる制度を導入してはどうか



里親研修への参加について、年次有給休暇の取得ではなく特別休暇が取得できれば、里親を希望する職員への支援につながると考えるところでありますが、特別休暇の新設については、国、県および他の自治体などの動向に留意しながら研究してまいります。

## 教育行政について



こどもまんなか社会の理念を学校教育施策において、どのように反映していくべきと考えているのか



本市では、学校が、安心感のある人間関係の中で自分らしさを発揮し、自らの成長や、他者と共に学ぶ喜びや感動を味わえる場となるよう、共感的な人間関係をはぐくむ集団づくりや、自己有用感や充実感を感じる授業づくりに取り組んでおり、こうしたことは、子どもの幸せを第一に考え、子どもの最善の利益を尊重する「こどもまんなか社会」の理念に沿うものであると考えております。今後も、子どものウェルビーイングの視点から日々の教育活動を見直し、家庭、地域と一体となって、すべての子どもたちの健やかな成長を支える学校教育の充実に努めてまいります。

## 環境政策について



生物多様性に配慮した魅力あるまちづくりについて  
ア 本市も生物多様性自治体ネットワークへ参加してはどうか  
イ 本市でもネイチャーポジティブ宣言をしてはどうか



現時点では、「生物多様性自治体ネットワーク」への参加や「ネイチャーポジティブ宣言」を行うことは考えておりませんが、引き続き、県のネットワークを通じ、情報収集に努めてまいります。



生物多様性に配慮した魅力あるまちづくりについて  
ウ 千秋公園を30by 30における自然共生サイトとして申請してはどうか



現時点では自然共生サイトへの認定を申請する考えはありません。



秋田市地球温暖化対策実行計画において、本市の役割として定めた温室効果ガスの排出抑制に係る優先した取組を実施するため、ペットボトルの水平リサイクルを行ってはどうか



先行自治体に聞き取り調査などを行い、メリット・デメリットを整理しながら、検討を進めてまいります。



市民の不安を払拭するため、毎年度行う環境調査の一環として、河川におけるネオニコチノイド系農薬の調査を実施してはどうか



国や専門機関の動向に注視し、環境基準項目として定められた場合は、速やかに調査を実施してまいります。

